阿智村事務事業評価シート 事務事業名 果樹農業振興 担当者 建設農林課 農政係 ①事務事業の概要 総合計画での位置づけ 3. 地域を支える力強い産業の村/産業の振興/農業の振興 関連する主な計画等 農業振興事業補助金交付要綱 根拠法 実施方法 直接実施 □ 業務委託 √ 補助金交付 負担金 その他 事業の対象者 果樹栽培農家 事業開始年 H11 時期不明 事業の終期 **✓** 終期未定 ②事務事業の計画(PLAN)、取組(DO) 農業災害補償法に基づく果樹共済への加入促進及び自然災害時における果樹栽培農家の経済的 実施目的 損失補償と経営の安定を図る。 具体的取組 果樹農家支援として果樹共済掛金の20%補助を行っている。 果樹減農薬資材補助として資材費の20%を補助。 22年度より凍霜害対策農薬補助(1/2)も行っている。 実績·効果 ・共済掛金、資材補助をおこなうことにより生産者の負担を減らし生産意欲の向上に役立っている。 新技法燃焼資材を助成することにより凍霜害対策に効果が上がった。 【参考】 果樹減農薬資材 果樹共済掛金 H27 26 戸 359 戸 ヶ 27 戸 戸 H26 25 321 ヶ 25 H25 25 戸 326 25 戸 ヶ 戸 戸 H24 26 373 ヶ 25 項目 余額 項目 余額 項目 余額 214 果樹共済掛金補助 歳出の 内訳 減農薬資材補助 188 (千円) 凍霜害対策補助 31 区分 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 実績額 (千円) 1,850 878 545 433 878 うち一般財源 1,579 業 545 433 878 878 うち補助金  $\Box$ 271 ス うち個人負担 従事職員 正規職員 (人) 臨時職員 ③評価(CHECK) 個別判定 判定理由 総合判定 区分 必要性 住民のニーズは高いか 継続的支援の要望有り。 b 果樹経営の安定に効果的である。 手段、成果は妥当か а Α 対象者の設定は妥当か 果樹栽培農家全般を対象としており妥当。 а 果樹類は村の振興作物にもなっており妥当であ 村の関与は妥当か h る。 期待された効果が得られ 果樹経営の安定に一定の効果があった。 有効性 Α コストの削減に努めたか 効率性 補助率のとおり実施した。

総合評価 B

④改善(ACTION)

公平性

れたか

事業の方向性 継続・維持

効率性を高める工夫はさ

受益者負担は適切か

課題 対策については、凍霜害や台風災害など気候や天候に左右される部分が大きい。被災後に経営を再開するためには有効である。

効率性が高められる。

事前の防止策を充実させることにより、結果として

В

В

今後の取り組み 果樹共済への加入促進と、自然災害を未然に防止するため農家への情報周知の更なる徹底。

а

自己負担あり